


～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫便り

平成 25 年 6 月 24 日 (NO.4)

浦幌町教育委員会



小中一貫先進地視察(第2回)

(日 時) 7月4～5日

(視察者) 平岡弘孝校長
鈴木広次長補佐

(視察先) 世田谷区教育委員会
世田谷中学校
文部科学省

小中一貫教育の成果として

■小中一貫教育の成果については、中央教育審議会の作業部会(24年6月)において、実践校の事例から次のようなことをあげています。

- ①中学生の不登校出現の減少
- ②全国学力・学習状況調査における平均正答率の上昇
- ③児童生徒の規範意識の向上
- ④異年齢集団での活動による自尊感情の高まり
- ⑤教職員の児童生徒理解や指導方法改善意欲の高まり

■小中一貫教育は、目的ではありません。9年間の一貫した教育課程のもとで、小・中学校の連続性・系統性のある教育活動を展開し、児童生徒の学力・体力の向上や人格形成を促すための手段と考えるみてはいかがでしょうか。

Q&A Q8. 小中一貫教育とコミュニティ・スクールとのかかわりがありますか。

●「コミュニティ・スクール」とは、地域とともにある学校づくりを進めるために、「学校運営協議会」を設置した学校のことです。協議会の委員には、教育委員会から任命された保護者や地域住民などが、一定の権限と責任をもって、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べたりします。

25年4月現在
1,570校が指定



●昨年、三鷹市立第七中学校を視察した際、三鷹市教育委員会の貝ノ瀬滋教育長が、「コミュニティ・スクールは触媒のようなもので、小中一貫教育と結びつくことにより、大きな効果を生み出します。」と話されていました。